

令和6年度 第1回長野県長野高等学校学校評議員懇談会 記録

1. 日 時 令和6年 5月 21日 (火) 15:00～16:30

2. 会 場 長野県長野高等学校 大会議室

3. 出席者

学校評議員 5名 (五十音順)

池田 宇一 氏 (長野市民病院長)

徳永 久美子 氏 (長野市 PTA 連合会副会長)

佐野 忠文 氏 (上松区 区長)

中村 正行 氏 (信州大学工学部教授)

藤井 純子 氏 (東口メンタルクリニック臨床心理士)

学校職員 10名

4. 学校評議員懇談会

(1) 開会 (15:00～)

(2) 学校長挨拶・委嘱 (15:00～)

(3) 自己紹介 (高校職員のみ)

(4) 全日制の状況について (15:10～)

① 全日制の概況 (全日制教頭)

・4月4日に入学式が執り行われ、全校生徒数は835名となった。例年、新入生の男女比は、ほぼ半々であるが、本年度は40名ほど男子が多い。式場は大体育館から小体育館へ移し、コロナ前の形態に戻った。

・先般の授業公開、PTA 総会では、昨年度700名ほどの来校者であったが、本年度は約900名と増加した。

・生徒一人1台タブレットを活用した授業が展開されており、コロナ禍中に研究した ICT に関わるスキルが生きている。本年度は文科省から“DX ハイスクール事業 (高等学校 DX 加速化推進事業)”に指定され、高校段階におけるデジタル人材の育成の強化を目指し取り組んでいる。

② 進路指導係より (進路指導係)

・進路指導の基本により指導計画を立て、各学年取り組んでいる。

1 学年は、学習生活習慣の確立と基礎学力の充実および課題研究等により思考力の向上を目指す。8月には東大セミナーが計画され、本年度は80名の生徒が参加する予定である。2 学年は、9月に実施される学部・学科研究を経て志望校を意識させ、秋には選択科目の決定へと繋げていく。3 学年では、進路実現に向け、入試に

必要な様々な学力を身につける“自立した学習者”の確立を目指している。

- ・昨年度卒業生の入試実績は、合格率 79.7%、進学率 69.4%で、共通テストの平均点が上がったため、強気に出願した生徒が多く苦戦した。国公立大学合格者のうち前期日程での割合が大きく減少し、難関 10 大学の合格者数も減少したが、医学部医学科については健闘した。また、共通テストを利用する私大が増加したことにより、本校でも私大受験者数が増加した。

- ・近年の入試はさらなる多様化の傾向にあり、本校では単位制のメリットを生かし、生徒の興味関心のある科目の履修等で対応している。授業は、基礎学力の向上および ICT を活用した探究力を醸成することを目標とした形態には変わらない。

③ 生徒指導係より（生徒指導係）

- ・本年度 4 月から現在までの交通事故は報告されていない。

- ・長野中央警察署より「信州グッドチャリダーモデル校」の指定を受け、ヘルメットの着用を含め、自転車の安全運転について指導している。本校のヘルメット着用率は、中央署の調査によると 80.25%で、近隣の高校の中では高い。

- ・心の健康相談は、例年通り医師、SC の面談を月 4 回実施しており、生徒のメンタルケアに有効である。

④ 生徒会係より（生徒会係）

- ・本年度の生徒会行事は、コロナ前の状況に戻しながら、金鷄祭をはじめ例年通りに実施予定である。

- ・本年度の新入生歓迎会は、吹奏楽班、ダンス班に加え、書道班も参加した。

- ・金鷄祭で販売するリストバンドの収益金は、能登半島地震災害復興支援金とする予定である。

- ・本年度の生徒会では、タブレットを用いて全校生徒に応援練習についてのアンケート調査を実施した。新入生については、応援練習終了後に実施した。

⑤ N G P 係より（N G P 係）

- ・N G P (ナガノ・グローバル・プロジェクト)は、文部科学省指定の S G H 事業終了後、基本的な事業（課題研究と国際交流）を継続して行う探究活動である。毎週月曜日の 6 時限目に設定し、全職員が担当して 1 ～ 3 学年の学校全体で実施している。各チームがゼミ形式により互いに意見、アドバイスを繰り返す中で、課題解決、探究を深めていくというスタイルである。1 年生は 11 月に、2 年生は 7 月にフィールドワークを計画している。

- ・国際交流については、昨年度 3 月に 1 年生の米国研修が実施できた。現地での研修は、その後の生徒の成長に極めて有効であり、報告会も英語で実施した。本年度

の2学年台湾研修もコロナ前に戻し、現地に赴き実施する予定である。

(5) 定時制の状況について（定時制教頭）

- ・本年度の在籍生徒数は、28名（1年11名、2年9名、3年8名）で、4学年はなし。
- ・義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いため、まずは登校できることを基本とし、職員間で生徒情報の共有に努め、外部機関との連携を活用しながら、全職員で個々の生徒の指導に生かしている。現段階で、ほとんどの生徒が登校できている。
- ・生徒の学力格差が大きく、大学進学を目指して午後3時頃に登校し、勉強している生徒もいる。
- ・本年度も総合的な探究の時間（1・2学年）「中庭菜園」という授業で、外部講師のご指導をいただき、テニスコート横に新たな“Edible Wonder! Garden”という菜園を造成する予定である。

(6) 学校評価について：（全日制教頭）、（定時制教頭）

- ・全日制、定時制について中間および年度末最終評価をお願いしたい。（各議員に依頼）

(7) 意見交換

○評議員：長野高校は、ある意味、東大をはじめとする難関大への進学が期待されている高校だと思うが、東大セミナーへ80名参加しているが、今年の東大合格者数は2名と報告があった。今年が不調だったということか。

学 校：東大、京大進学希望者は増加しているが、力を持っても、その力を十分に発揮できなかった生徒がいた。今後も東京の中高一貫校に負けない学力、メンタルのサポートが重要だと考える。

学 校：力のある生徒が不合格となっている。今年は19名の生徒が東大を受験したが、様々な面で不運があり十分に力を発揮できなかった。しっかり分析して今後の指導に生かしたい。

○評議員：生徒会で応援練習についてのアンケート調査を実施したと報告があったが、どのような結果が出たのか。

学 校：1年生については、応援練習終了後に感想および改善点を書き込むアンケート調査で、タブレットを用いて実施した。あくまで今の時代にあった応援練習の形態を模索する検討材料として実施した。

○評議員：進路指導で実施している学習・生活実態調査で、1年生は学習習慣ができていないという報告があったが、2年、3年になるにつれて改善されるのか。

：今どきの応援練習は、何のためにやるのか。目的は何か。

：定時制の募集定員はどうなっているのか。義務教育段階で、不登校を経験した生

徒が休まずに登校しているという報告があったが、その要因は何か。

学 校：基礎学力および学習習慣の状況をみる調査で、今年の1年生はタイプ1の割合が例年より若干多い。タイプ1とは、学習習慣はついていないが基礎学力はあるというタイプの生徒である。2年生になると、どうしても班活が中心になってしまい、学習時間を確保するのが難しくなるが、生徒の状況を見ながら適切に指導している。

○評議員：学習時間と成績は関連するのか。

学 校：各学年において最低2時間の学習時間を確保している生徒は伸びている。

学 校：かつての応援練習は1週間行われていたが、現在は3日間となった。昔は伝統を引き継ぐという意味で行われていたが、今の時代には合わない。

コロナ禍で応援練習ができなかった生徒の中には、校歌を歌えない生徒もいた。母校に誇りを持ち、校歌を歌える生徒、全生徒の一体感を醸成するという意味では必要なものとする。ただ練習形態は今の時代に合わせる必要がある。

学 校：ほとんどの生徒が義務教育段階で不登校、または登校できても別室学習を経験した生徒である。中学での状況や家庭の状況等を全職員で共有し、さらに学校生活での声掛けのし方、対応方法も全職員で共有し、職員全員が担任のように接している。

朝が苦手な生徒にも夕方から始まる学校が合っていると考えられる。また、同じ境遇の生徒が集まっているということも安心材料になっているのでは。

定時制では、5年前より1、2年生の授業で菜園を造る取り組みをしている。今年は、3年生の有志がアシスタントをしている。このような活動を通して、先輩と後輩との連帯感が生まれ、安心・安全な雰囲気を作っているのではないかとと思われる。

○評議員：本年も地区の運動会をはじめ様々な催しでお世話になるが、よろしく願いしたい。最近、学校周辺の歩道などで歩きスマホをする生徒が増え、事故が心配である。

学 校：自転車通学者のヘルメットの着用とともに歩きスマホについても注意喚起を行いたい。

○評議員：市教育委員会との会合でも不登校生徒の話しができるが、定時制の取り組みは素晴らしいと思う。

歩きスマホは本当に危険であるが、普段の生活でも四六時中、スマホを見ている状況も心配である。

○評議員：定時制の取り組みは素晴らしいと思う。一つの学校に全日制と定時制が存在するのは大変ではないか。

学 校：入学式も卒業式も合同で行っている。全日制の生徒にとっても、同じ学び舎に定

時制の生徒もいるということが良い影響を及ぼすと思う。お互いに良い化学反応が生まれることを期待している。

(8) 校長より御礼の言葉

(9) 閉会 (16:30)